

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-2  
自然とのふれあいの推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

林業課長 前島 和弘

電話番号

0852-22-5167

|         |  |                            |  |
|---------|--|----------------------------|--|
| 事務事業の名称 | 森林林業体験活動推進事業   |                            |  |
| 目的      | (1) 対象   | 県民                         |  |
|         | (2) 意図   | 森林とふれあうことを通じて森林に対する理解を促進する |  |
| 事業概要    | 県民が森林とふれあうことを通じて森林に対する理解を促進するため、ふるさと森（ふるさと森林公園・県民の森）において森林とふれあう場を提供する。 |                            |  |

## 2. 成果参考指標

| 成果参考指標名等 |      | 年度                           | 27年度  | 28年度     | 29年度     | 30年度     | 31年度     | 単位       |   |
|----------|------|------------------------------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|---|
| 1        | 指標名  | ふるさと森利用者数                    | 目標値   |          | 12,100.0 | 12,500.0 | 12,900.0 | 13,300.0 | 人 |
|          | 式・定義 | ふるさと森林公園(学習展示館)利用者数の過去5年間平均値 | 取組目標値 |          |          |          |          |          |   |
|          |      |                              | 実績値   | 11,786.0 | 12,113.0 | 12,196.0 |          |          |   |
|          |      |                              | 達成率   | -        | 100.2    | 97.6     | -        | -        | % |
| 2        | 指標名  |                              | 目標値   |          |          |          |          |          |   |
|          | 式・定義 |                              | 取組目標値 |          |          |          |          |          |   |
|          |      |                              | 実績値   |          |          |          |          |          |   |
|          |      |                              | 達成率   | -        | -        | -        | -        | -        | % |

## 3. 事業費

|             | 前年度実績  | 今年度計画  |
|-------------|--------|--------|
| 事業費(b) (千円) | 38,661 | 41,605 |
| うち一般財源 (千円) | 37,288 | 38,814 |

## 4. 改善策の実施状況

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む) |
|---------------------|------------------------|

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

ふるさと森林公園：平成29年度のふるさと森林公園の利用者数は12,196人であり、目標値をやや下回るが、前年度利用者数より増加。NPO法人もりふれ倶楽部に管理運営を委託し、適切な公園管理と、幅広い世代への森林学習等に活用されている。平成5年の開園以降、25年を経過し、各施設の老朽化に伴う修繕が増加。松江市と共用する給排水施設はH26年に管理・修繕費用負担協定を結び、応分の負担を受けている。

県民の森：H22年度に、もりのすとキャンプ場周辺を飯南町に譲渡し、譲渡施設周辺の維持管理業務は、飯南町の指定管理者へ委託している。キャンプ場周辺の遊歩道は、森林セラピーに利用されており、平成29年度は463名の利用者があった。県主催のふれあいイベントは、平成29年度は計14回の森とのふれあいイベントを開催し、233名の参加者があった。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

(ふるさと森林公園)

- 平成26年度以降、ふるさと森林公園の給排水設備の維持管理については松江市との協定に基づく費用按分による費用負担の分担が行われており、設備投資が抑えられている。
- 管理運営委託によって、ふるさと森林公園が適切に管理されている。

(県民の森)

- 県民の森については、老朽化していたトラック等が更新され、小規模な崩土除去など迅速に対応でき利用者の安全と利便性確保が図られている。
- ふるさと森林公園、県民の森とも多くの利用者が訪れ、森林や自然に親しんでもらっている。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

(ふるさと森林公園)

- 学習展示館、多目的広場のトイレ、遊具、遊歩道など、施設の老朽化に伴う突発的な修繕を要する事態の発生により、来園者の快適な施設利用に支障が出ている。また、園内遊歩道や広場付近では、松くい虫やナラ枯れ枯死木の発生もあり、来園者の安全確保のため迅速な処理が必要である。

(県民の森)

- 積雪の多い地域であり、幹線林道への融雪時の法面の土砂の流出や、台風、降雨後の落石、落枝の発生により、利用者の安全な通行に支障がある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

(ふるさと森林公園)

- 公園全体を利用者が安全、快適に利用できるための施設及び樹木の維持管理についての、整備計画および管理計画が不十分。

(県民の森)

- 日常的な巡視、パトロールを実施する中で、事前に注意箇所の洗い出しや要修繕箇所の洗い出しをしておく必要がある。

### ③原因を解消するための「課題」

(ふるさと森林公園)

- 来園者に対する施設の安全性、快適性を念頭に、公園全体の中から整備・修繕の優先順位をつけるなど長期的な維持管理をふまえた計画的な整備が必要。

(県民の森)

- 巡視、パトロール体制および連絡体制の整備による災害発生の早期発見と迅速な対応が必要。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

(ふるさと森林公園)

- 来園者の安全確保を最優先に、管理者である松江市と管理業務を委託されているNPOとも連携・協力しながら、既存施設の計画的な整備と維持管理に努め、突発的な緊急性のある修繕等への迅速な対応を図る。また、併せて快適な施設利用を図ることで、森林や自然とのふれあいをより深めてもらえるよう努める。

(県民の森)

- 巡視、パトロールなどによる施設管理の徹底と小規模災害への迅速な対応により、利用者の安全確保に努める。大規模な災害については県土整備事務所への情報提供と復旧に向け協力する。